

心豊かな「すてきさん」づくり ～ えがお ・ げんき ・ あいさつ ～
かんがえ、やってみる子 いたわり、助け合う子 せいいっぱいがんばる子 いきいきと元気な子



園庭のえのきに登って…

開成町立開成幼稚園

たいよう通信

第2号

発行日：令和7年5月29日（木）

発行者：園長 杉山 孝史

幼稚園の生活にも慣れて

山々の燃えるような新緑が目まぶしい5月。梅雨の走りを思わせる雨に濡れてさらに鮮やかさを増しているようです。

新年度が始まってもうすぐ2か月です。年長や年中の子どもたちは、新しいクラスの友達や先生にすっかり慣れ、毎日元気いっぱい遊んでいます。また、4月に入園してきた年少の子どもたちですが、初めは家の人と離れる寂しさや幼稚園で過ごす不安から涙を流す子もいましたが、笑顔で過ごす場面が増えていきます。（写真）

5月5日は「立夏」でした。暦の上ではすでに夏が始まっています。6月から幼稚園では楽しい水遊びも始まります。これからの季節ははじめと蒸し暑い日が増えてきます。戸外での帽子着用、こまめな水分補給、十分な睡眠などにより熱中症予防に努めていただけたらと思います。引き続き、子どもたちが健康に過ごせるよう皆さまのご協力をお願いします。



年少お話会・子育ての情報共有

年少保護者の皆さまにお集まりいただき、5月20日（火）「年少お話会」を開催しました。

はじめに、杉山から「幼児期の特性について考える」と題して、生活リズムの好循環をつくること、ほめ育ての達人を目指すこと、幼児期に非認知能力を育てることなどを話題にさせていただきました。特に子育ての悩みを保護者どうして語り合う場面では、話がだいに盛り上がっていました。

また、遠藤栄養士からは給食の意義や、噛むことの大切さを伝えさせていただきました。（写真）



短い時間でしたが、皆さまと子育てや食生活などについて情報の共有ができました。ご参加ありがとうございました。

年中・親子で遊ぼう DAY

5月23日（金）、年中・きりん組とうさぎ組のミニ懇談会を開きました。それぞれの担任から、これまでの子どもたちの様子や今後の予定などをお伝えしました。

その後、どんぐり会館に場所を移し、親子で運動ゲームを楽しみました。ゲームの進行役は杉山です。勝ち残りじゃんけん、親子でつながる貨物列車ゲーム（写真）、風船運びゲームなど大いに盛り上がりました。最後は、子どもたちからお母さんやお父さんに素敵な歌のプレゼントがありました。つかの間でしたが、親子の笑顔と歓声が会館いっぱいに広がりました。同じ学年の親子が一緒に遊ぶことで絆を深め、心が通い合う素敵なひと時でした。



年長誕生会・わくわく科学ショー

5月生まれの子をお祝いする年長誕生会を5月27日（火）、ゆうぎ室で行いました。4人の子が先生から素敵な誕生カードを首にかけてもらい、学年みんなで「誕生日って何の日」を合唱しました。

そして、誕生会のもう一つの楽しみは、毎回出し物が用意されることです。この日のそれは、元高校の物理の先生だった久保田さんによる科学ショーでした。（写真）大きなビニール袋に空気をためてみたり、手作りのブーメランや紙飛行機を飛ばしたりしながら、空気の不思議さや面白さを教えていただきました。子どもたちは目を輝かせながらショーに釘付けになっていました。部屋に戻った子どもたちは、早速紙飛行機やブーメランで遊んだようです。

次回は6月生まれの子の誕生会です。さくら組の



子どもたちがこの日の出し物を担当します。どのような出し物が飛び出てくるのか、期待が膨らみます！

子どもたちの安全を守る

子どもたちの安全を守り安心して生活できる環境を整えることは、幼稚園や学校の最も大切な使命の一つです。本園では、年間計画に基づいて子どもたちへの防犯や交通安全指導、地震や火災避難訓練などを定期的を実施しています。

先日、東京都立川市の小学校に男性2人が侵入し、教職員にけがを負わせる事案が発生しました。このことは決して他人事ではなく、園はもとより地域全体で協力して未然に防ぐための対策を考える必要があります。

この事案が発生する少し前の5月2日（金）、松田警察署の協力を得て、不審者侵入時対応訓練を実施しました。子どもたちが普段と同じように生活している幼稚園に、突如不審者が入り込んだという想定で職員の対応を確認し合いました。不審者に対してスキのない素早い対応ができたこと、警察官から褒めていただきました。不審者対応で大切なことは、子どもたちと職員自身の安全を守って、退去を促し



ながら警察の到着を待つことだそうです。一人一人の職員が訓練に真剣に参加し、防犯に関する学びを深めました。

お知らせ

預かり保育『ぐるんぱクラブ』

今年度、時間と利用条件を拡充した預かり保育『ぐるんぱクラブ』— 子どもたちが集まる部屋からは毎日のように元気な声が響いています。「普段の保育では見せない姿を見ることができ、子どもたちはぐるんぱクラブで過ごすことに慣れてきたようだ」と担当職員はこれまでの様子を振り返っています。季節や生活のリズムに合わせた活動を取り入れるなど、今後ますます子どもたちが楽しく有意義に過ごせるよう工夫してまいります。



《預かり保育時間》

◇一日保育	14:00～17:00
◇降園30分早め	13:30～17:00
◇午前保育	11:00～17:00
◇夏季休業中	9:00～16:00

《利用料金》

3時間以内500円 3時間超1000円

※3時間を1秒でも超えると1000円です。

園舎2階ぐるんぱクラブルームに設置してあるタブレット入力をもって預かり保育終了となります。時間に余裕をもってお迎えをお願いします。



トンカツ2

▼「トンカツ落っこし作戦」（前号に詳細を掲載）

が失敗に終わってからも、相変わらず肉は私にとって苦みな食べ物でしかありませんでした。ところが、私が中学生の時、ある出来事をきっかけに転機が訪れます。我が家は、祖父母、父母、私たち兄弟の3世代家族でした。父は公務員でしたが、祖父はみかん農家を営んでいました。自宅のある場所は山中のため周りに飲食店など一切なく、自家用車もなかったため家族みんなで外食をするといった経験ありませんでした。▼ある日、祖父を訪ねて一人のお客さんが来られました。お昼近くだったのでしよう、珍しく祖母がお客さんと祖父のために店屋物を注文しました。どんぶりのフタを開け、祖父とお客さんは会話をしながら笑顔で店屋物を食べています。その様子を私は遠目にこっそり眺めていました。お客さんが帰った後、どんぶりのフタをそっと開けてみました。するとどうでしょう、半分ほどだったと思いますが、中身が残っているではありませんか。祖父に尋ねると、「お前が食べたそうに見ていたから残しておいた。食べてもいいよ」初めて口にしたカツ丼の味は格別でした。涙しながら食べた無味なソーテーではなく、卵とじて甘辛く味付けされたそれは、苦手な肉を感じさせないほどの美味しさでした。しかも、祖父の気持ちさがさらに上乘せされていました。この出来事がきっかけとなり、お肉に対する抵抗感が少し和らいだのです。▼開成幼稚園では、給食指導を通して食事のマナーや感謝の気持ちなどを育む時間として大切にしています。ご家庭でも、ぜひ一緒に食卓を囲みながら、「今日の給食には何がでたの?」「美味しかったものはどれ?」といった問いかけを通じて、食べる楽しさを共有してみてください。親子でこうした会話が、子どもたちにとって素敵な思い出となり、食への興味や感謝の気持ちをさらに深めてくれることでしょう。

